

平素は私たち(一社)豊田青年会議所の活動にご理解、ご協力賜り誠にありがとうございます。現在、世界中を新型コロナウイルスが猛威を振っています。例年と同じような活動ができない中、青年会議所運動の歩みを止めることなく行う為にWEB会議を導入するなど、新たな試みも取り入れながらメンバー一同活動を行っています。



第61代理事長
池田 靖典

また、地域の皆さまの為に寄付活動なども行って参りました。大変な時代だからこそ我々がしっかりと行動して、この地域の非常事態を乗り切っていきたいと考えております。

「至誠を貫く」のスローガンのもと、2020年度も最後まで活動して参りますので、更なるご協力を賜ることができれば幸いです。

至誠を貫く

KEEP INTEGRITY

一般社団法人豊田青年会議所2020年度例会・事業の報告

新型コロナウイルス感染対策用品を寄贈しました。

令和2年6月4日、豊田市役所にて新型コロナウイルス感染対策用品として豊田市立小・中・特別支援学校に非接触式電子温度計104個とバイザー型フェイスシールド1,500個を寄贈させていただきました。また令和2年7月28日には公益社団法人豊田地域医療センターにてアルコール消毒液(一斗缶 30個)を寄付させていただきました。

長期化する新型コロナウイルスですが、この様な非常時に地域の為に(一社)豊田青年会議所として何ができるのか。どうしたらお役にたてるか。

多くのメンバーと協議した結果、非接触式電子体温計とフェイスシールドとアルコール消毒液を寄贈させていただくこととなりました。長期化する新型コロナウイルスが一刻も早く収束する事を願い少しでも早く明るい笑顔が溢れる豊田市を取戻すためにも、今後とも活動してまいります。



18名の新入会員が(一社)豊田青年会議所の仲間になりました

新型コロナウイルスの影響で拡大活動が精力的に行え中で18名のメンバーが入会することになりました。

三回のオリエンテーションを経て、新入会員となりました。協力していただきました特別会員の皆様、本当にありがとうございました。

コロナウイルスの影響下で入会へ決断した新入会員へ今後ともご指導ご鞭撻よろしくおねがいします。

2020年度の会員募集にも多大なるご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

本年度は23名の卒業生がいる中で新入会員18名を認定することができました。数は力となり、組織の軸となる会員数の増加は毎年必要不可欠です。(一社)豊田青年会議所の数ある魅力を理解し、誇りを持つことで自信あふれるメンバーが増え、それがさらなる行動力へとつながり活動が活性化されることでしよう。一人でも多くの方にこの団体を知っていただき、地域から必要とされ「人を集める組織から人が集まる組織」となる事を信じています。まだまだ若輩の現役会員に対して今後とも指導ご鞭撻よろしくおねがいします。



会員開発委員会
委員長・安藤貴司

- 高松 憲司 (株式会社アタラート)
- 島崎 哲生 (株式会社 NICORi)
- 荒井 大 (ブルデンシャル生命保険株式会社)
- 高ノ山健太 (メットライフ生命保険株式会社)
- 中山 友通 (株式会社メイドー)
- 有本 隼人 (有本行政書士事務所)
- 松岡 功席 (愛豊管工株式会社)
- 森 隆司 (革研究所 豊田店)
- 清水 光 (光建興)
- 神谷亜由美 (一般社団法人全国福利厚生共済会)
- 加納 俊和 (株式会社加納造園)
- 村瀬 喜仁 (東建コーポレーション株式会社)
- 大岩 高也 (三共造園株式会社)
- 小山田紳治 (Make5)
- 高橋 勇大 (ARIIX Japan 合同会社)
- 井上 夏穂 (岡崎陸運株式会社)
- 津江 康志 (東北商店 豊田駅前店)

4月度
例会

とよたの未来とSDGs

～持続可能な社会に向けて～

4月16日 WEB (WEB アプリ ZOOM) にて例会を開催しました。

本例会では持続可能なまちの未来の為に主体的に SDGs を学び、取り組む機会を設けました。講師に株式会社ブルーコーナー代表取締役の嶋田亮氏をお招きし、SDGs を活用したビジネスに取り組むポイントを解説していただきました。ワークショップでは豊田市の抱える問題の解決を参加者がグループになってブレインストーミングを実施しました。なぜ SDGs が必要なのかを学び、取り入れることのより、企業が求められる存在になっていくことが具体的にわかりました。

5月度
例会

夢をかなえる魔法の授業

～なりたいじぶんになるチカラ～

5月15日 WEB (WEB アプリ ZOOM) にて例会を開催しました。

5月度例会では、自分が望む未来を自分で割り出していく創造力を育む為に自分が得たいビジョンを明確にすることの大切さを学んでいただきました。講師としてカルチュア・コンビニエンスクラブ株式会社の大島崇央氏に講演していただきました。本例会では「夢」や「自分の将来」を題材として創造力を育む為の教育の重要性を自ら積極的に地域に広めていくことのできる人材になることを目的とした例会となりました。

6月度
例会

模擬投票～高校生と考える未来～

6月度例会では若者が政治に対する当事者意識が乏しい理由について若者ごとに様々な理由がある事を理解した上でどのようにしたら興味を持てるようになるかを考える例会となりました。その中で自分たち大人が見せるべき姿について考え、頭ごなしに伝えるのではなく、その子に出来る限り応じた助言ができるようになることが求められると感じました。バズセッションを行いながらの参加型の例会となり、深く現代の子供たちの社会への興味づけについて考えることが出来ました。



7月度
例会

アクション ～災害が起きた時あなたはどうする～

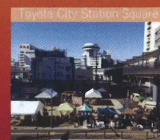
7月度例会では、講師に熊本市議会議員の田中敦朗氏、名古屋大学減災連携研究センターの西川智氏に『災害が起きた時あなたはどうする』をテーマに講演して頂きました。講師講演を通じ、発災時にどのように行動するか、事前の備えについて考え、経済人として連携して行動することの重要性を理解しました。講師から、熊本震災時の状況を被災者の立場からメディアに報道されていない情報を説明していただき、継続的に企業間で事前の備えが大切という事を考えさせられる時間となりました。



JCI ASPAC AWARD セレモニーの報告

2019年度11月度例会『Welove さんそん』が最終候補にノミネートされました。日本JCからは6つの事業が最終候補にノミネートされました。残念ながら受賞には至りませんでした。アジア地域の JCI の中で (一社) 豊田青年会議所の事業がノミネートされることは本当に嬉しいことであり、誇らしいことです。また今後の事業構築の際の自信につながります。私たちはこれからも1つ1つの例会を大切にいき、また質の高い例会にしていけるよう努めます。

Save the Mountain Village, Save the Town
JCI Toyota, Japan



編集後記

広報戦略実線委員会 委員・平野幸子

暑さ、ますます厳しき折、いかがお過ごしでしょうか。世間は新型コロナウイルス蔓延で厳しい状況が続いております。豊田青年会議所ではWEB会議を行うなど非対面型で会議や事業を行っております。各地では様々な行事が中止となり、人との繋がりが希薄になっています。そんな中、より豊田青年会議所でつくられた人脈により感謝する機会は増えました。今出来ることは何なのか、今だから出来ることは何なのか、しっかりと見つめ直し、With コロナの時代を乗り切りたいです。今後とも一般社団法人豊田青年会議所を温かく見守っていただくと幸いです。今後の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



豊田JC 検索

ホームページ

<http://www.toyotajc.jp>

公式サイト



Facebook



Instagram



Twitter

